



丹後半島・伊根の舟屋

京都府丹後半島に位置する伊根町は天橋立で知られる宮津市から二十数キロ北東に向かった場所である。そこに2005年（平成17年）、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「伊根の舟屋」がある。町の80%は山林に占められているので古くから漁場で栄えた。江戸時代には「ともぶと」と呼ばれる軽舟けいしゅうで、ブリ、マグロ、カツヲ、クジラなどを盛んに獲ったと古老が語った。

「伊根はよいところ 後は山で、前は鰯ぶりと鯨くじらとる」と歌い継がれているように、伊根浦はブリ漁とクジラ漁で賑わった。現在もイワシ、アジなど全国有数の漁獲量を誇る。伊根湾は波静かな上に干満の差が少なく海の際きわから深くなっているため、その利点を生かし、漁に出やすいつくりとなっている。舟の格納庫と住居が一体となった約230軒の「舟屋」は切妻造きりづまぞうで漁民の知恵が生み出した文化財である。そんな光景を山の中腹から眺めていると丹後ならではの景観が実に美しく、旅情を心地よく誘うのであった。

（写真・文 樋口健二）